

3. 学習内容報告書_呼子小学校2（4年）

学校名	唐津市立呼子小学校
授業者	宮田千晴

1. 単元計画

1-1. 単元名

呼子の歴史を探ろう

1-2. 学年

4年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、社会科、音楽科

1-4. 単元の概要

3年生で学習した「呼子のキラリ」を振り返る中で、イカ漁や海産物など海にかかわるものを子供たちは、大切に感じていた。4年生では、「呼子の歴史」をキーワードにどんなことについて調べたいかを話し合う中で、「呼子の海と祭りについてもっと知りたい」という思いが高まった。海が身近にある呼子の町は、漁業とかがわりが深い。漁業にゆかりがあり、伝統芸能として受け継がれている「ハイヤ節」を学習し歌い継いでいく。他にも「骨切り唄」などの労働歌を学ぶことで、呼子の町では捕鯨が盛んだったことを理解させ、呼子とクジラ漁の歴史を探っていく。「鯨組主中尾家屋敷」の見学では、捕鯨が盛んになった理由、捕鯨の仕方、捕鯨後の活用、人々の苦勞などを学ばせる。捕鯨の中心であった小川島へ渡り、見張り所や大砲、道具、供養塔などを巡り、捕鯨の歴史を感じ取らせる。また、海に関連する祭りも行われており、今年度数十年ぶりに復活する祭りもあることから祭りに寄せる思いなども感じ取らせ、故郷を大事にする気持ちを育んでいきたい。学びの発信としては、「ハイヤ節」を地域のお祭りや行事で披露したり、学習して分かったこと感じたことを新聞やパンフレット等にまとめて伝えたりしていく。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童が、自分自身の生活する身近な地域のもの・こと・人と関わり合いながら、呼子の漁業や祭りなどの歴史について学習することで、地域を盛り上げる人々の努力を知り、自分たちの生活が海やそこで働く人々とつながっていることを実感させるとともに、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する気持ちを高める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 身近な海について調べたい事柄を見つけたり、追究したい課題を設定したりする力。【知識・技能】
- (2) 調べ学習を通して得た情報から、身近な海やそれに関わる人々の生き方・自分の故郷などに魅力を感じたり、それを他者へ伝える方法を考えたりする力。【思考力・判断力・表現力】
- (3) 身近な海に関心を持ち、進んで学習に取り組み、積極的に発信しようとする力。

【主体的に学習に取り組む態度】

1-7. 単元の展開（全30時間＋音楽4時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p>「呼子の歴史を探ろう」の学習計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生での学習の振り返り ・松浦漬の試食 	<p>3年生での学習をもとにして、呼子について知っていることを想起させる。さらに地域のことを知るために学習することがらを「呼子の海」に関することから「呼子の漁業の歴史（捕鯨について）」と「呼子の祭り」の2つにしぼる。</p>
8 +	<p>呼子の伝統芸能「ハイヤ節」を唄い継ごう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイヤ節の歴史や背景 ・ハイヤ節の歌詞の意味 ・伝統芸能にこめられた願いや思い <p>→発表の場として「呼子くんち」、ミニコンサート、ひなまつりなど地域の行事に参加。（授業時間外）</p>	<p>呼子の漁業の歴史から、昔から唄い継がれている「ハイヤ節」について学び、体験する。</p> <p>☆講師 城谷さん、野崎さん</p> <p>伝統芸能「ハイヤ節」に込められている思いや願いを知ることで、呼子の町を大切にしたい思いを育てる。</p>
6 ↓ 2	<p>捕鯨の歴史・大綱引きについて調べよう 〈小川島〉→コロナの影響で中止。代わりに写真等で見せる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見張り所 ・鯨供養塔 ・大砲などの道具 <p>〈鯨組主中尾家屋敷〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中尾家について ・捕鯨が盛んになった理由 ・どことなくじらを捕っていたのか ・捕鯨法やそのための道具 道具を体感する ・捕鯨後のくじらの活用法 ・捕鯨にかかわる人たちの暮らしなど ・漁に関わる「骨切り歌」などの労働歌 など <p>→分かったことや思ったことを、さらに知りたいことをノートにまとめる。</p>	<p>☆小川島訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような場所でどのように捕鯨が行われていたのか、見張り所や大砲などの道具を実際に見せることで、当時の様子を体感する。 ・鯨供養塔の見学で、鯨の命を大切にしてきたこと先人たちの海に感謝する思いを感じとらせる。 <p>☆鯨組主中尾家屋敷の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕鯨で財を成した中尾家の見学をする。なぜ、捕鯨が盛んになったのか、捕った鯨の活用法や捕鯨のための道具などを知り、呼子の生活にどのように関係してきたのかを知る。 ・捕鯨の方法や鯨の大きさを学び、漁の過酷さを知ること、自分たちの住む呼子の町が繁栄するために先人たちの努力があったことを感じとらせる。 <p>☆大綱引き会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼子大綱引きに使われている綱や法被を見たり、大綱引きの歴史に関する情報を得たりすることで、「呼子の祭り」について調べるグループの意欲を高める。

3	<p>呼子の祭りについて調べよう 〈GT の講話〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小友祇園祭について ・呼子大綱引きについて <p>→分かったことや思ったことを、さらに知りたいことをノートにまとめる。</p>	<p>☆GT 八幡神社神主 八幡嵩経（たかつね）さん （呼子歴史研究家）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼子のお祭り「小友祇園祭」や「呼子大綱引き」の歴史や祭りに込められている願い、祭りに関わる人たちの努力や苦勞を知ることで、故郷を誇りに思う気持ちや先人への感謝の気持ちを高めていく。またさらに知りたい、関わりたいという意欲につなげていく
8	<p>呼子の歴史についてまとめよう 「捕鯨について」「呼子の祭りについて」のグループに分かれて、今まで調べてきたことをもとにさらに知りたいことを調べ、新聞にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・捕鯨も呼子の祭りも呼子の町を盛り上げるために行われている(いた)ことに気付くようにし、今の自分たちがあるのは、先人たちの苦勞や努力、知恵のおかげであることに感謝の気持ちを高める。 ・適宜、タブレット端末や図書資料を活用して情報収集を行うようにする。
2	<p>学んだことを発信しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できた作品を使って、クラス内で発表する。(→計画では、同じ中学校区の打上小の子どもたちにオンラインで発信する予定だったが、間に合わず断念) また、校内に掲示したり、家庭へ発信したりすることで、学習の達成感を得られるようにする。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

2-2. 本時の目標

鯨組主中尾家屋敷の見学を通して、呼子の漁業の歴史を知ると共に先人たちの苦労と努力、知恵に気付くことができる。

2-3. 本時の展開 (…評価、●達成不十分な児童への手立て)

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1. 本時の学習内容の確認</p> <p>2. 本時のめあてを立てる。</p>	<p>○呼子の漁業の歴史を振り返り、捕鯨がさかんであったこととおさえる。なぜ、捕鯨がさかんだったのか、その時代の呼子の町についてや漁の様子、またそれらに関わる人たちについて調べていくことを確認する。</p> <p>○呼子の歴史を打上小の4年生に伝えることを確認し、呼子のよさを伝えたいという意欲を持たせる。</p>
<p>めあて 呼子の捕鯨の歴史や関わってきた人たちについて調べよう。</p>	
<p>3. 「鯨組主中尾家屋敷」の見学をする。</p> <p>① 捕鯨の歴史についての講話</p> <p>② 捕鯨で財を成した中尾家屋敷内の見学</p> <p>③ 捕鯨に関わる道具、捕鯨の様子等の見学、体験</p>	<p>○捕鯨の歴史についての講話で、現在の呼子の海と様子が違ったことに気づかせる。</p> <p>○鯨の大きさ、捕鯨の様子、それらに関わる道具を見たり、触ったりすることで、捕鯨の大変さ、関わる人の苦労や努力を感じ取らせる。</p> <p>○捕鯨後の鯨の活用、鯨から作られた道具を知ることによって先人たちの知恵や鯨が貴重な資源だったことに気づくことができるようにする。</p> <p>○疑問に感じたことを施設の方に質問して記録していくようにする。</p>
<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>B 学習課題を追求するために、捕鯨の歴史やそれらに関わる人たちの努力や苦労を知ろうとしている。</p> <p>● 展示物や体験コーナーなど見て感じとりやすいものを具体的に挙げ、見つける視点を助言する。</p>	

4. 本時の活動の振り返りをする。	○見つけたものだけでなく、そこから気づいたり考えたりしたことも記述するように促す。
5. 次時への見通しを持つ。	○本時の活動を称賛し次時の活動への意欲を高める。

3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> ・現在の自分たちがあるのは、捕鯨で町を繁栄させてきた先人たちの努力や苦勞、知恵のおかげであることに気付いた児童が多く、感謝の気持ちを持つことができたと共に、先人たちが守ってきた祭や伝統芸能を大切に思い、呼子の町のよさに気付くことにつながった。 ・一つ一つの活動や話にはとても関心を持ち、意欲的に取り組んでいたが、内容の理解が十分でないところが見られた。活動のつながりをうまく持たせられなかったことや発信する目的意識・相手意識を十分に持たせられなかったことも原因だと考える。

4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・計画では、小川島へ行き「鯨見張り所」や「鯨供養塔」、小川島小学校にある展示物等を見学したり、小川島小学校の児童に案内してもらったりする予定であった。しかし、感染症の拡大から断念することになってしまった。実際に見張り所を見ることで、漁の様子を感じ取ったり、大変さに気づいたりできるので、導入の段階で、訪れるなど確実にに行けるように計画していく。 ・ハイヤ節に関しては、地域の方にも広く発信することで、伝統芸能を唄い継ぐということに対して達成感を味わい自分の町に誇りを持つことができたが、そこに関連し土台となる「捕鯨の歴史」や「呼子の祭りの歴史」については、まとめが浅くなってしまった。目的意識・相手意識をしっかり持たせることが不十分であったことが原因と考えられる。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。